

2021年 03 月 10日

## 2020 年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 NPO 高齢者の音楽を考える会

理事長 庵原 えい子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

オンラインでの高齢者施設への音楽療法や参加型コンサートの提供

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成15年高齢者施設で音楽療法をしていた者たちが集まり NPO を設立。現在会員32名。高齢者施設での音楽療法50回/月。他高齢者のための歌の会開催。ミュージカル上演、コンサートの開催、講演多数、著書3種類

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

コロナ禍で高齢者施設では日常的に行われていたイベントなどが中止となり施設全体が比喩している状況にあるなか、良い音でよい画像でそして安全に、施設へ音楽療法やコンサート実施する。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当初予定と同じ

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

コロナ禍の緊急事態宣言下でもオンラインで配信し、安心して音楽療法を施設に入居の方と楽しむことができました。全20回ほど。参加者400人  
元気な高齢者の為の歌の会もフレイル防止に大変役立ちました、  
うたを歌うことが健康にどれだけ大切であったかを再確認することができました。  
皆で歌うときは一斉ミュートにしました。  
オンラインで高齢者の方に配信し、歌を歌って元気に過ごすことができることを認識しました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

オンラインは配信側が環境をしっかり行っても受信側の環境により、音質、映像、等に違いが出てくるのでお互いがしっかりした送信容量を持つことが必要となります。  
音と映像を送るためにどうしても遅延が生まれます。改善策としてヤマハシンクルームという無料アプリがありますが使用方法が難しい事と、5か所までしか使えないためなかなか導入には至りませんでした。

## 7. 参考資料

オンラインでよい映像、良い音にこだわったので写真のようなものを購入しました

参考資料あり・特になし

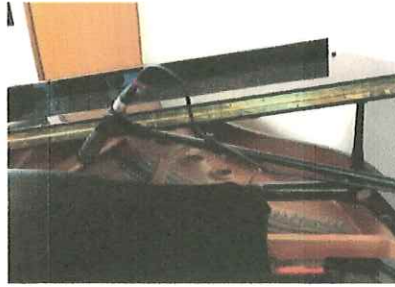
# ダイナミックマイク

丈夫で湿度に強い、感度が低い、⇒比較的安価

ボー



ピアノ



# ミキサー

(オーディオインターフェース内臓)



# USBマイク

(コンデンサーマイク)





## ウェブカメラ

(マイク内臓)



初めは何を揃えたらよいか全くわからなく、色々な方に尋ねても映像と音ということを知っている人がいなかったため準備段階で時間がかかりました。

そして機器を揃えても、使うためのアプリが必要だったり、映像の為のキャプチャーが必要でその使い方も分からず。何度も何度も会員同士で使い方の勉強会をしたり、詳しくそうな人に教えてもらったり、毎日大変な思いでしたが、少しずつ理解できるようになってきました。

2月からの緊急事態宣言下でも施設に安全に音楽療法やコンサートを配信することができ、喜ばれています。この機器があり本当に助かりました。

何回も何回も会員で集まってどうしたらできるのか研究に研究を重ねました。

多くの方に教えてもらい、お世話になりました。



9月頃、ケーブルの繋ぎ方などやっとわかってきて練習です



ピアノ、キーボード、ボーカルなどの音量のバランスを考え歌の会もできるようになりました。皆で歌うときはマイクをミュートにします。



施設への音楽療法配信ができるようになりました



フルートコンサートも配信できました。

